



学年通信第 2 号
発行日 5 月 1 日

活躍できる、2 年生になってほしいと思います。まずは、少しずつ始めるところからきっかけをつかんでください。

先生のお話

始業式から約 1 か月経ちましたが、クラスには馴染んできましたか？ 一番最初の授業は、どのクラスも、静かに取り組んでいて、まだ緊張した面持ちの生徒もちらほら伺えました。今は、適度に打ち解け、心地いい雰囲気を感じながら授業をすることができています。この調子で切り替えをしっかりとしながら、授業に臨んでください。

話は変わりますが、皆さんには熱中して打ち込めることがありますか？ 江川は中学、高校、大学時代だと、バスケットボールと即答できていました。しかし、大人になり、教師として働き始めると、胸を張って熱中していると言えなくなっていました。何かと、「忙しい」と言い訳をし、「バスケする暇があるなら、仕事をするわ」と正当化された様に聞こえる理由を並べて、熱中していたものから逃げているようなことをしていました。

その結果、何が起こったかという、すべてのことに対して言い訳や正当化された理由を並べて逃げようになっていました。言葉を選ばずに言えば、「都合のいいことばかり言う人間」になっていました。そんな人の言うことを誰が信用するのかと、誰が自分の言う言葉に安心してくれるのかと自問自答するようになりました。「これじゃいけない、、、」と思い、【何事にも全力で】という考え方に変えました。

上の話から君たちに伝えたいこと

何事にも全力で取り組むというのは、すごく、想像以上に、疲れます。ついつい次の日のことを考えて、体を休めようと思ってしまいます。しかし、全力でその日に頑張ることを、自分ができる最大限を続けてみてください。すると、自信がついてきます。自分の最大限を発揮するために、先を見通す力が身に付きます。そういう人に信頼が集まり、人望に繋がります。ときどき、この話をする、勘違いをして、頑張っているアピールをする人がいますが、そんなことしなくても、頑張っている人を周りは見えています。それを言葉に出さず、周りはその人を認めていきます。君たちにも少しずつこのようなことを目標にして、日々を頑張ってもらいたいと思います。何気ない日々を過ごすより、目標のある日々の方が意味ある日常になると思います。

例えば、授業に全力で集中して取り組んでいますか？ 家に帰ってから、中間テストの勉強に取り組むことができますか？ 習い事やクラブ活動の時に「少しは楽なメニューにならんかな？」とか考えていませんか？ 一時の感情で楽な方に流されていませんか？ そうなってしまうと、なんでも言い訳ばかりになってしまう人生になってしまうかもしれません。それだけでなく、本来自分が持っている力がどんどん弱くなってしまいます。幕末の長州藩士、吉田松陰は「一日一字を記さば一年にして365字を得、一夜一時を怠れば、100歳の間に36000時を失う」という言葉を残しています。一日一日の大切さがわかる言葉だと思います。毎日を大切に、日々を全力で過ごし、周りの人から信頼される人間になり、

5月の行事予定

2日	家庭訪問(45分授業 4限まで 給食なし)
8日	眼科検診(対象者のみ)
9日	6限月3
12日	KT=金5 専門委員会
14日	検尿2次←1次で忘れてしまった生徒のみ
15日	歯科検診
16日	6限集会
19日	KT=水6
22日	中間テスト1
23日	中間テスト2
26日	KT=火5
27日	職業体験事前訪問(給食後下校)
28日	職業体験事前訪問(給食後下校)
6月5, 6日	職業体験

保護者の皆様へ

授業参観と学年懇談会に御来校いただき、ありがとうございました。家庭訪問においても、お忙しい中お時間を作っていただきありがとうございました。学校での様子だけではなく、ご家庭での様子など、共有させて頂いたことを、学年懇談会でお話させて頂いた、初心を忘れることなく、日々の教育活動に取り組んでいきます。

5月になり、気温が高い日も増えてくるかと存じます。お子様の体調管理等には十分に配慮を行っていきますが、水筒を持たせて頂くなどのご協力頂ければと思います。御協力よろしくお願いたします。